

大人の休日

オセラ世代の1週間の平均休日数は2.1日。

その休日に男性がまず最優先に行うことは「趣味活動」66.7%、次に「レジャー活動」50.7%、続いて「睡眠・休息」46.7%。女性が最優先で行うのは男性と同じく「趣味活動」54.8%ではあるが、次に続く「睡眠・休息」51.6%「家事」49.5%と比べても数値に大差はなく、これら3項目は女性の休日の3大優先事項といえるだろう。

多くの回答を集めた「趣味活動」「レジャー活動」といった休日の余暇活動の内容をたずねたところ、52.4%が月に1回以上「外出」に出掛け、「ドライブ」29.2%、「スポーツ」26.2%、「行楽・旅行」26.2%をはじめ、「それ以外の趣味」45.2%を楽しんでいる。

このような休日の過ごし方を、77.4%は「平日とは「違う」休日を過ごしている」と回答している。理想の休日は、「家族団らん」(60.7%)も大切だが「自分の趣味やレジャー」(69.6%)に費やす時間を最も大切にしたいという。また、現在不足しているのは、性別年代に関係なく第1位「お金」と第2位「時間」、第4位には「魅力的な場所と機会」が回答を集めた。

調査目的	岡山の大人の意識や行動を知る
調査方法	インターネット調査
調査期間	2007年10月31日～11月6日
調査対象者	岡山県在住の40歳以上の男女
回答者	168人
調査機関	岡山情報文化研究所

回答者のプロフィール

【年齢】

上段:度数 下段:%	合計	40代	50代	60代以上
全体	168	129	33	6
	100.0	76.8	19.6	3.6
男性	75	52	18	5
	100.0	69.3	24.0	6.7
女性	93	77	15	1
	100.0	82.8	16.1	1.1

【職業】

上段:度数 下段:%	合計	勤め人	自営業	パート、 アルバイト	無職	その他
全体	168	89	21	32	21	5
	100.0	53.0	12.5	19.0	12.5	3.0
男性	75	55	16	1	3	0
	100.0	73.3	21.3	1.3	4.0	0.0
女性	93	34	5	31	18	5
	100.0	36.6	5.4	33.3	19.4	5.4

【居住地】

上段:度数 下段:%	合計	岡山市	倉敷市	その他 県内
全体	168	87	46	35
	100.0	51.8	27.4	20.8
男性	75	37	19	19
	100.0	49.3	25.3	25.3
女性	93	50	27	16
	100.0	53.8	29.0	17.2

【家族構成】

上段:度数 下段:%	合計	ひとり	夫婦の み	自分(配 偶者含 む)と子	親と自分 (配偶者含 む)と子	親と自分 (兄弟姉妹 含む)	その他
全体	168	9	23	74	37	13	12
	100.0	5.4	13.7	44.0	22.0	7.7	7.1
男性	75	5	14	29	21	3	3
	100.0	6.7	18.7	38.7	28.0	4.0	4.0
女性	93	4	9	45	16	10	9
	100.0	4.3	9.7	48.4	17.2	10.8	9.7

1週間の休日数

オセラ世代の1週間の平均休日数は、2.1日。

週休「2日」が53.0%、「1.5日」が6.5%、「1日」が26.8%を占める。

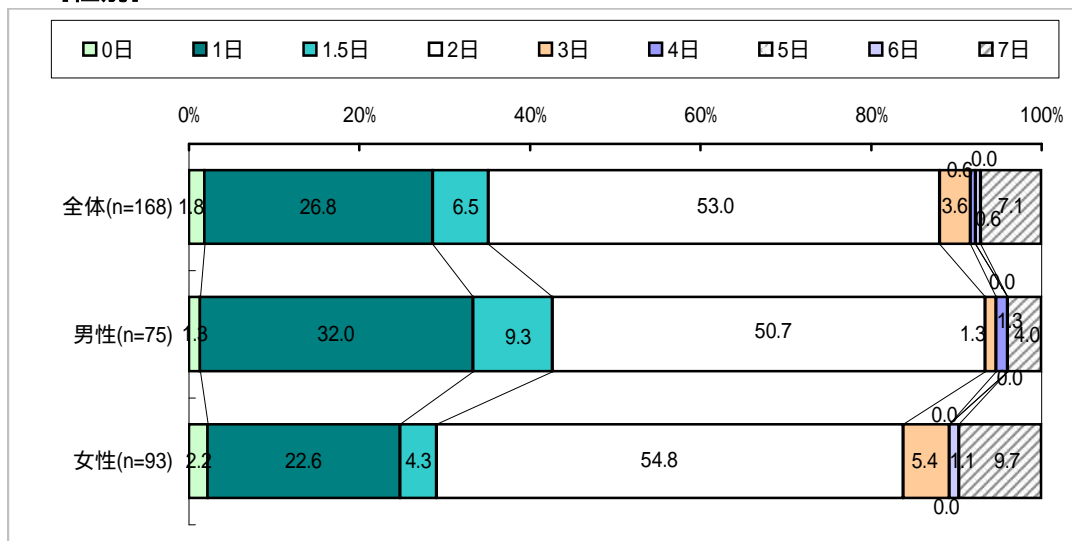
男女別でみると、男女共に週休「2日」が半数以上を占め、2番目に回答の多い週休「1日」は男性のほうが若干多い。

また、無職の方には「7」を記入してもらったところ、男性の週休「7日」は4.0%と、回答者プロフィール・男性無職4.0%と一致する結果が出た。しかし、女性の結果をみると、回答者プロフィール・女性無職は19.4%であるのに、週休「7日」と回答したのは9.7%と、9.7ポイントの差が表れた。家事や育児、ボランティアなどのアンペイド・ワークも「仕事」と捉え、純粋な「休日」のみをカウントしているのかもしれない。

年代別でみると、最も多くの割合を占める週休「2日」は、40代55.8%に対し50代以上43.6%と、40代のほうが値が高い。50代以上は無職の比率が若干高いせい、平均休日数が40代よりもやや多い。

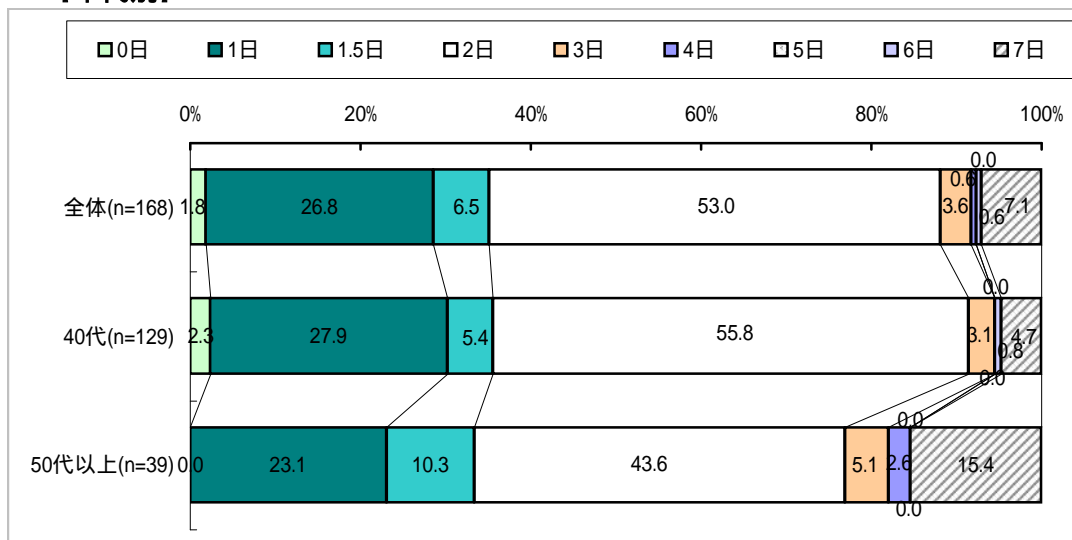
1週間の「休日」(数量回答) 無職の方には「7」を記入してもらうようにした。

【性別】



平均値(日)	
全体	2.1
男性	1.9
女性	2.3

【年代別】



平均値(日)	
全体	2.1
40代	1.9
50代以上	2.6

休日の過ごし方

休日に男性が最優先するのは「趣味活動」と「レジャー活動」、女性が最優先するのは「趣味活動」と「睡眠・休息」と「家事」。

休日に優先的に行っていることを3つまでという制限つきで回答してもらった。

全体では、第1位「趣味活動」、第2位「睡眠・休息」、第3位「レジャー活動」、第4位は近値で「家事」。

「趣味活動」は男女別、年代別で若干の差があり、男性や50代以上の値が若干高い。「レジャー活動」も同様で、男性の値は全体値より13.2ポイント高く、50代以上の値は全体値より6.1ポイント高い。対して、女性の「レジャー活動」の値は全体値を10.6ポイント下回っている。

「家事」は女性の値が高く、全体値を13.2ポイント上回っている。男性の値は全体値を16.3ポイント下回り、男女間の差は29.5ポイントに達する。年代別では、50代以上の値が全体値に比べ若干低い。

そのほか、男性よりも女性が、50代以上よりも40代の値が高い項目には「外食」「会話・交際」があり、中でも女性の「会話・交際」の値は全体値を4.8ポイント上回り、男性の値よりも10.8ポイント高い。また、「睡眠・休息」も女性や40代の値のほうが若干高い。

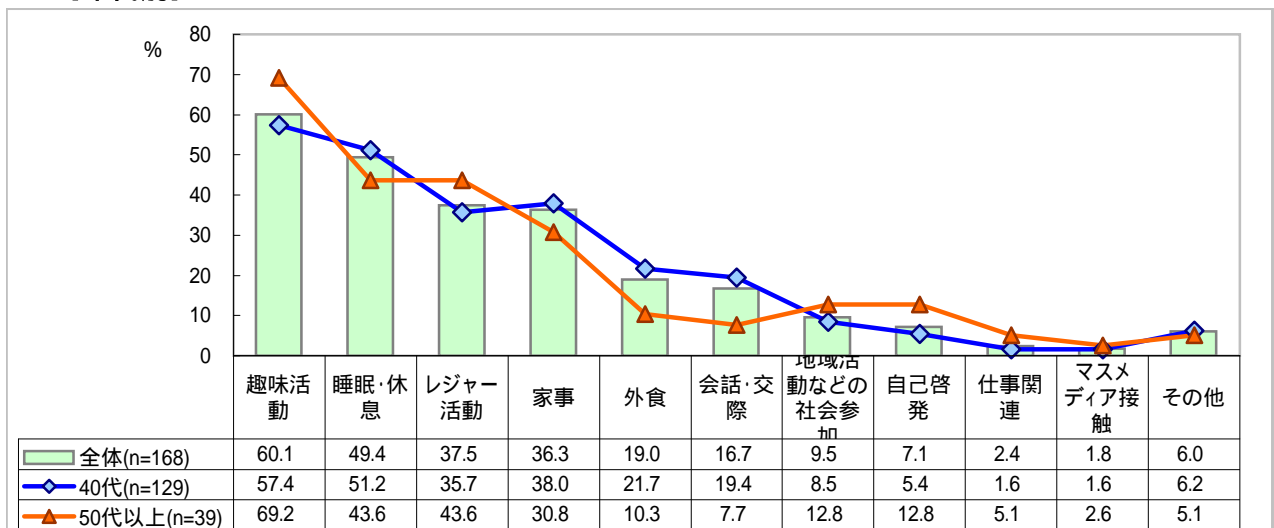
男性は休日に趣味やレジャーなど、いわゆる「余暇活動」が活発だが、女性の休日は「趣味活動」「睡眠・休息」「家事」の3項目の値が近く、分散している。

「休日」に優先的に行っていること(3つまでの複数回答)
【性別】

専業主婦は夫や子供が休みの日を想定して回答してもらった。



【年代別】



休日の余暇活動

40代の休日は「外食」、50代の休日は「趣味」。

月に1回以上「休日」にやっている余暇活動を複数回答でたずねた。

全体で最も多かったのは「外食」、次に「それ以外の趣味」で、男女別でも同じ順位であった。

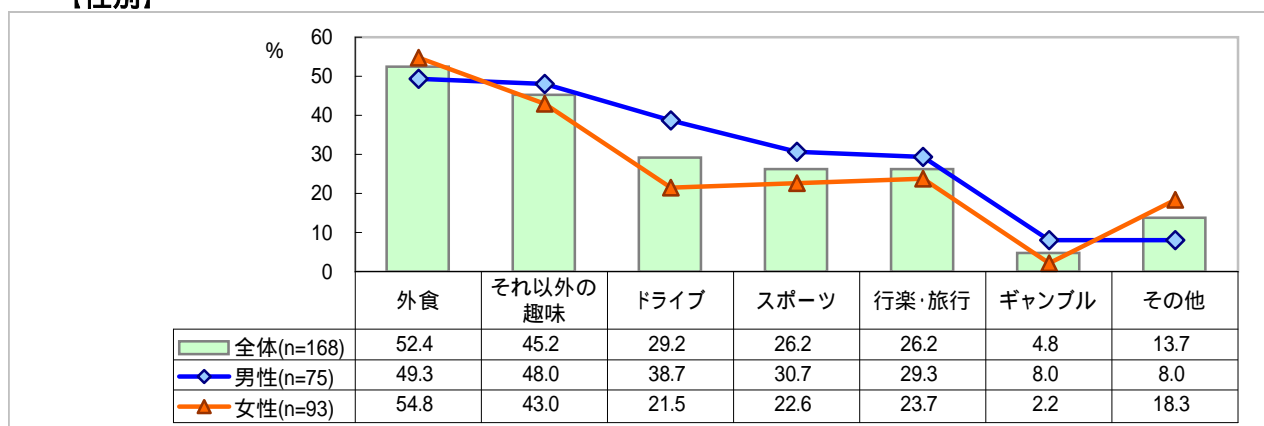
男女間で、最も差が大きかったのは「ドライブ」で、男性の値は全体値を9.5ポイント上回り、女性より17.2ポイント高かった。また、男性は「外食」「その他」を除き、各項目で全体値を上回る値を示している。

年代別でみると、年代間の差が最も目立ったのは「外食」で、50代以上の値が全体値を19.1ポイント下回り、40代に比べ外食頻度が低いことがわかる。50代以上で最も回答が多かったのは「それ以外の趣味」で、全体値より11.2ポイント高く、続く「ドライブ」も全体値を6.7ポイント上回っている。

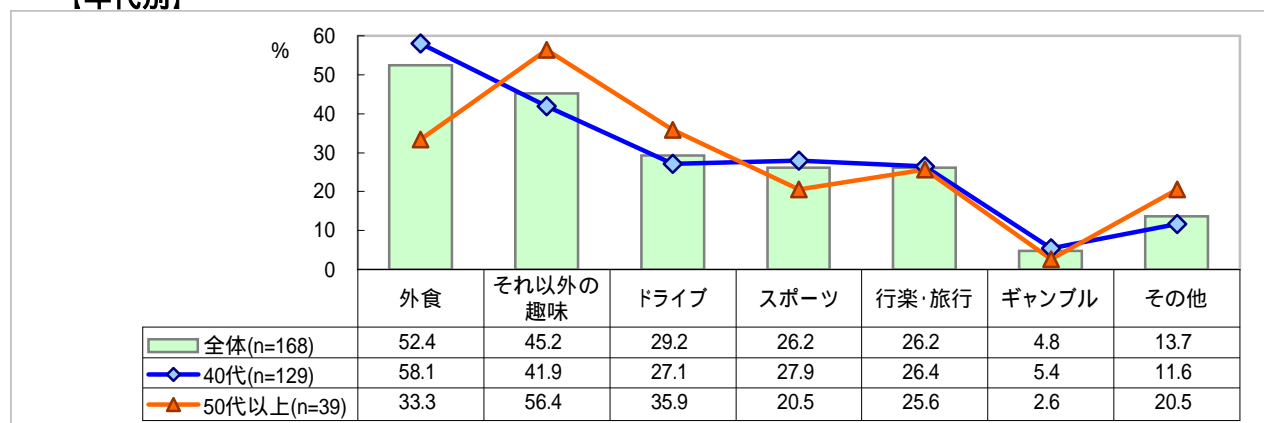
制限なしの複数選択で回答してもらったが、男性は平均選択数が2.1項目、女性は平均選択数が1.9項目であることから、男性のほうが女性よりも余暇活動の選択の幅がやや広く、積極的であるのかもしれない。

月に1回以上「休日」にやっていること(複数回答) 【性別】

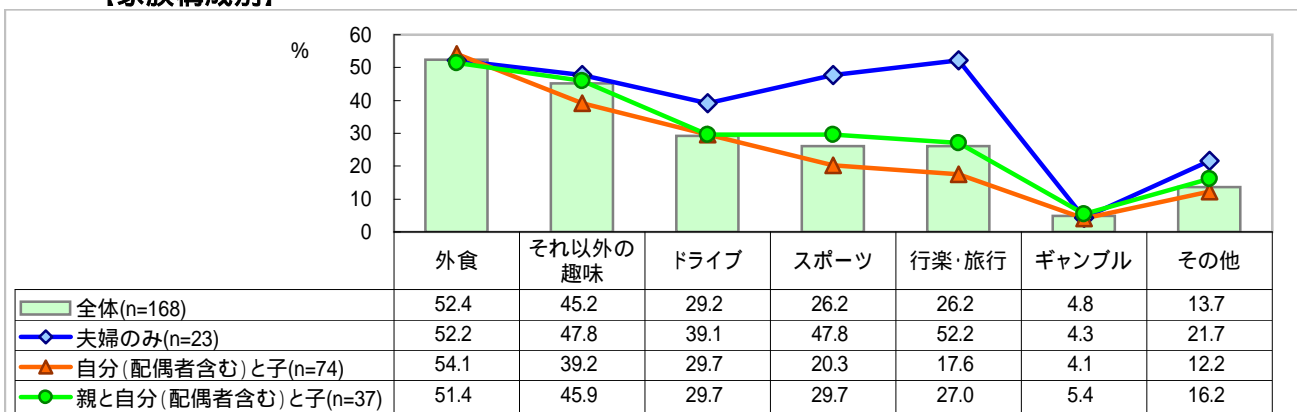
専業主婦は夫や子供が休みの日を想定して回答してもらった。



【年代別】



【家族構成別】



「休日」への意識

77.4%は平日とは「違う」休日を過ごしている？

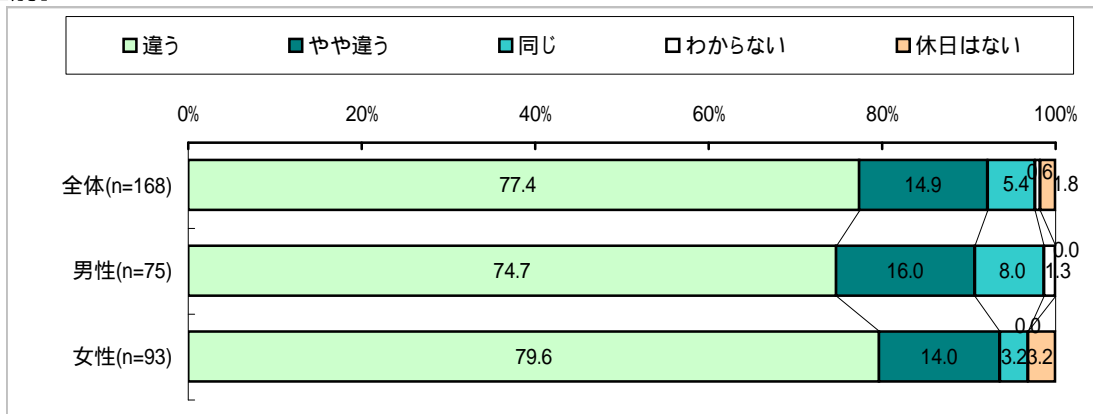
男女別で見ると、「違う」と回答しているのは男性より女性のほうがやや多いものの、大きな差はない。「休日はない」と回答しているのは女性のみ。

年代別で見ると、ほとんど回答内容に変わりがなく、「わからない」「休日はない」との回答は40代のみでみられた。

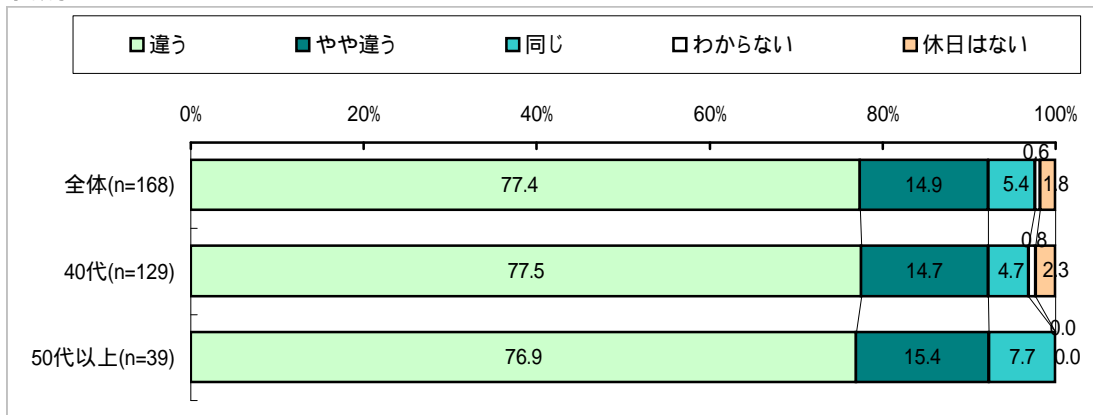
「平日」と「休日」の1日の過ごし方の違い(単一回答)

専業主婦は夫や子供が休みの日を想定して回答してもらった。

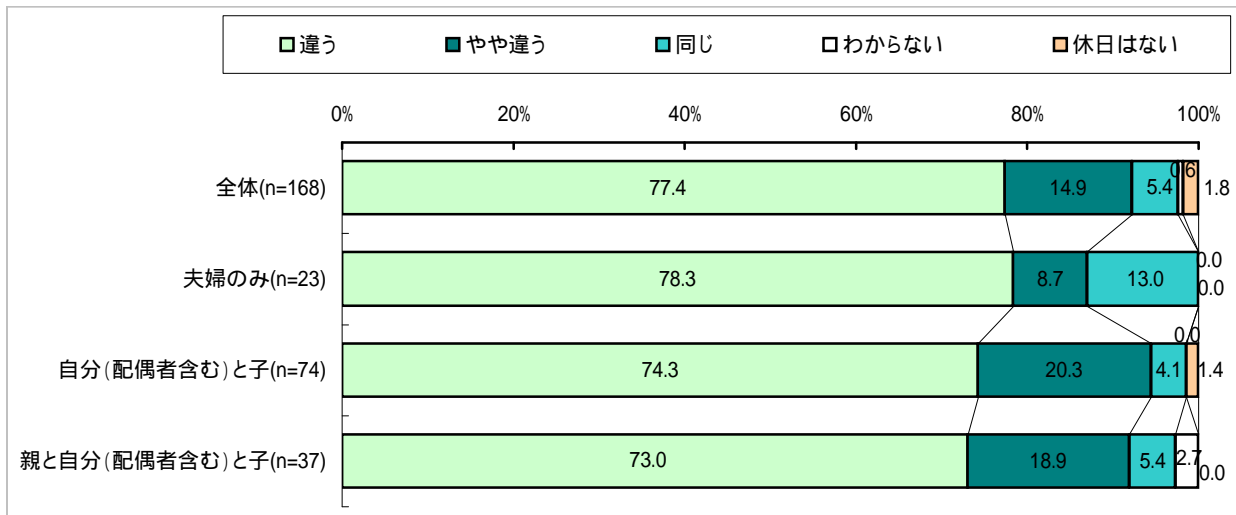
【性別】



【年代別】



【家族構成別】



理想の休日

理想の休日は「自分の趣味やレジャー」69.6%と「家族団らん」60.7%の日。

休日に大切にしたい時間を2つまでという制限付きでたずねた。

性別年代に関係なく第1位を得たのは「自分の趣味やレジャー」。男性や50代以上で値が若干高く、男性は6.4ポイント、50代以上は7.8ポイント、それぞれ全体値より値が高い。

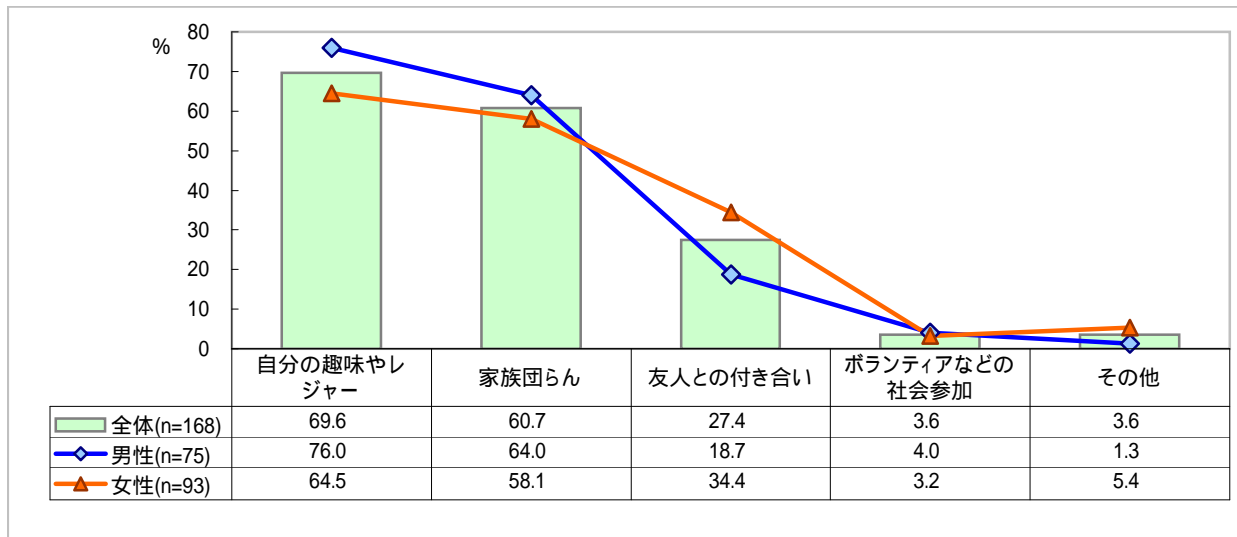
続く「家族団らん」も、男女別でも年代別でも第2位を得た。また、「自分の趣味やレジャー」に比べ男女間・年代間の差が小さく、性別年代に関わらない共通の価値観のひとつであると思われる。

「友人との付き合い」の時間を大切にしたいと回答したのは、若干女性が多く、全体値を7.0ポイント上回っている。年代別でみると、この項目は50代以上の値が低く、全体値を14.9ポイント下回っているが、「自分の趣味やレジャー」を通じた"仲間付き合い"は大切にしているのではないだろうか。

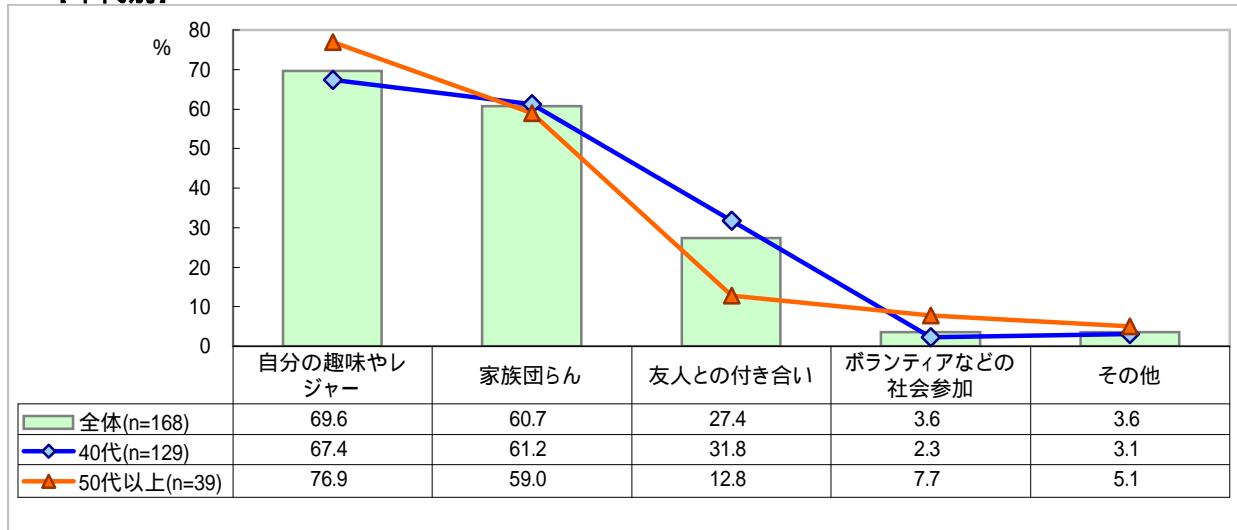
「休日」に大切にしたい時間(2つまでの複数回答)

専門主婦は夫や子供が休みの日を想定して回答してもらった。

【性別】



【年代別】



休日に足りないもの

休日は「お金」70.2%と「時間」48.8%が足りない。

休日に不足しているものを複数回答でたずねた。

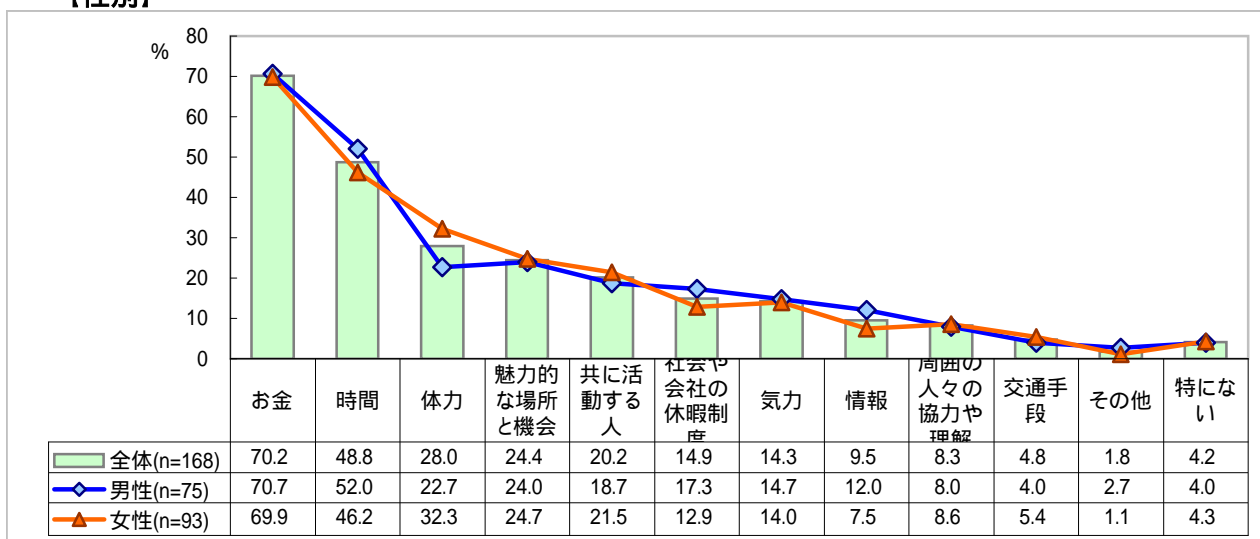
第1位「お金」と第2位「時間」は性別年代に関わらず、多くの回答を集めた。第3位「体力」、第4位「魅力的な場所や機会」、第5位「共に活動する人」、第6位「社会や会社の休暇制度」と続き、それ以降の順位や値も、男女間・年代間での大差はない。

「気力」(第7位)はあるが「体力」(第3位)がない、というのはオセラ世代ならではのようだ。しかしながら、男女間・年代間の値の差が少ない中で、50代以上の「気力」の値は全体値より11.3ポイント、40代より14.7ポイント高く目立っている。50代以上は「時間」の値が全体値より7.8ポイント低く、「時間」に関しては40代より若干満足しているが、4人に1人が「体力」に加え「気力」まで不足している状態である。また、50代以上は「周囲の人々の協力や理解」が全体値よりやや高く、ここにおいても精神的な不満や悩みをやや抱えているようである。

「休日」に不足しているもの(複数回答)

専業主婦は夫や子供が休みの日を想定して回答してもらった。

【性別】



【年代別】

